

自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1 ○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとして、「OPENNESS」というコンセプトを運営者、職員で作りました。より地域に開かれたホーム作りを運営者、職員が一丸となって実践していきたいと考えています。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議や申し送り等でホームの理念や目指す方向についてふれている。職員ひとりひとりが自己確認をして、理念を実現できるよう日々取り組んでいます。		
3 ○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時の契約、重要事項説明時にホームの特徴と理念について触れている。 ご家族様や地域の人々により理解してもらえるように今後は運営推進会議においても理解してもらえるよう取り組んでいきます。		
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4 ○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	まだまだ十分ではないが、地域の中でより開かれたホーム作りをしていきたいと思えます。		
5 ○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会にもホーム便りを配布したり、自治会への出席や、自治会主催の催しをホームにてしていただいたりして、地域交流を図っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現状は、事業所の職員が足りない状況があり、地域貢献ができていないといえません。 地域に根ざしたホーム作りをしていくためには、今後どのような貢献ができるのかを話し合っていきたいと思っております。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	地域密着型サービスへの変更も含め、ホームの置かれる状況が変化しております。年に1度自己評価を行うことで自己反省と変化に対応するための新たな改善を検討・実践していくよい機会と思っています。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの入居状況や日々の暮らしの状況、活動内容の報告等になっています。 より地域の人々や包括支援センターとの連携を深め、サービス向上に生かしていきたいと思っております。		
9 ○市町との連携  事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町担当者との交流は現在ありません。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要に応じて活用できるような体制をとっている。以前は成年後見人制度を利用した入居者もいましたが、現在は不在のため今後は職員勉強会を通じて、制度の理解を深めていきたいと思っております。		
11 ○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の申し送りやミーティング等で話し合っている。 声かけや日々の行動について常に意識している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得	十分に説明しています。		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	各フロアに意見箱を設置しています。 ご家族様からのアンケートを実施し、意見を取り入れたり、説明を行ったりしています。		
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行している新聞「ひだまり」にて、個人個人の健康状態やスタッフの紹介等を報告しています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各フロアに意見箱を設置しています。 アンケートを実施して、運営に反映させています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等にて意見や提案を聞く機会があります。 職員の意見や提案を実践し、日々改善して行っています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	対応できるように職員の確保に努めていますが、現状は確保できていない状況です。人材の確保と育成により力をいれていく必要があります。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は行っていません。離職を最小限に抑える努力が必要です。</p>		
<p><b>5. 人材の育成と支援</b></p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症の実践者研修を始め、機会があれば研修への参加を促しています。年間を通した具体的な研修計画はできていません。</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域包括支援センターや在宅介護の事業者との集会には参加し、情報交換に努め連携を図っています。地域の中で横のつながりや勉強会等の活動ができるように取り組んでいきたいと思っています。</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>スタッフ懇親会などを実施しています。</p>		
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>評価制度をつくりました。評価だけではなく、各自が向上心を持って働けるような勉強会やミーティングを行っていききたいと思います。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>契約時にはご家族様、ご入居者様から十分にお話を聞くようにしています。また、日々の生活の中でも本人からの話を十分に聞くような対応を心がけています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族様のホーム見学時に、不安に思っていることなどを十分の聞き、その立場を理解するように努力しております。</p>	
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>在宅サービスを含め、介護保険サービスについて説明しています。他のグループホームや他の介護保険施設、有料老人ホームなどの現状や違いを説明して、十分に検討していただけるように対応しています。</p>	
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になじめるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者様の生活歴や習慣などを十分に聞き、徐々になじめるように職員は事前に情報共有をして対応しております。</p>	
<b>月+A7</b>			
27	<p>○利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々のレクリエーションだけでなく、日常生活の様々な場面で入居者様のできることや得意とすることを教えていただいたり、楽しんだりしています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	月1回ホーム便り「ひだまり」を発行している、個人別に内容を変え、わかりやすく、入居者様の日々の暮らしぶりが分かるようにしています。面会時や、お電話などで状況を報告し、その都度対応方法をご相談しています。		
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様と密に連絡を取りながら、状況を細かく報告し相談しながら交流の場を持っていただくようにしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活歴などをご家族様から細かくリサーチし、回想法などを通じて日々の生活に取り入れている	○	馴染みのある場所への外出や馴染みのある方々との交流を可能な限り、行っていきます。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い方同士で、日々の生活において役割を持って頂く。 倶楽部を作り、入居者様がお好きな倶楽部で活動して頂ける様にし、入居者様同士が多く関わり合いを持って頂けるようにしています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所される際、いつでも相談していただける事をお伝えしています。	○	退所された入居者様やご家族様と連絡を取ることはあまりありませんでしたが、今後ホーム便りの送付を行ったり、ホームの行事のお知らせや、近況報告などおこなっていきたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご入居時にご本人の考え方、性格を細かくお聞きし、それを考慮しながら把握につとめています。また日々の何気ない会話の中からも希望、意向をお聞きできるように関わりを多く持ち、馴染みの関係を築いています。 困難な場合はご家族様とも相談しご本人の表情等をみながら検討しています。	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時に生活歴等の聞き取りを細かく行っています。入居後もコミュニケーションを多く持ち把握に努めています。	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の記録、日誌、申し送りなどを通して全職員が把握出来るように努めています。適時ミニカンファレンスを行い特筆すべき事は連絡ノートに記載し、全職員が把握できるようにしています。	
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様、ご家族様のご意見、ご希望をお聞きしながら、作成するよう努めています 一部の入居者様においてはご家族様との話し合いが不十分です	○  ご家族様との連絡を密にとるよう努めています
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご家族様へは面会時や、お電話等でお聞きしながら、作成するよう努めています。日々の日誌、記録に状態の変化を記録し、特筆すべきことは、連絡ノートに記入し全職員に周知徹底しています。しかし介護計画の見直しは不十分です。	○  介護計画の見直しを徹底していきます。



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日誌、記録への記入は徹底しています。特筆すべきことは連絡ノートに記入し、全職員に周知徹底しています。 介護計画への反映は不十分です。	○	介護計画への反映を徹底しています。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会に入会し地域の行事、消防訓練に参加したり、防犯教室等を行う場を提供し参加しています。		
41	○他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者様の状態の変化に伴って必要なサービスをお知らせし、ご家族様の意向をお聞きしながら利用していただいています。	○	利用できる他のサービスを広くご家族様にお知らせし、必要かつ有益なサービスを利用していただけるようにしていきます。
42	○地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	小地域ネットワーク連絡会への参加、また地域包括支援センター主催の行事開催場所の提供、参加をしながら適時意見交換を行い、運営推進会議では密な連絡と意見交換を行っています。	○	今後もより多く意見交換を出来る場をつくっていきます。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同グループ内の提携医による2週間に1回の往診を行い、往診以外でも必要に応じて対応しています。ご家族様の希望や入居者様の状態に応じて適切な医療機関の受診をしていただいています。</p>		
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の症状、状態に応じてご家族様了承のもと認知症専門医療機関の受診を行っています。</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>同グループ内のクリニックの看護師による訪問看護を1週間に1回行っています。適時電話でのやりとりを行い、必要があれば訪問日以外でも対応して頂いています。</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院するさいの提携病院があり、情報交換や相談を適時行っています。入院時は、ホームとして出来る範囲の事をご家族様と連携しながら行い、退院に向けて主治医や担当看護師と連絡をとりながら、かかりつけ医に状態を報告し退院する時期を常に鑑みしています。</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者様の希望、ご家族様の希望をもとにかかりつけ医、家族、ホーム管理者、介護職員が話し合いを行っている。</p>		
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>入居者様の希望、ご家族様の希望をもとに、重度、終末期のケアを行っています。現在まで数例ありケアにさいしての医療との連携は確率されており、今後もさらなる充実を図っていきます。</p>	○	<p>今後も重度、終末期ケアに取り組み勉強会、研修などを通して職員のスキルアップを図ると共に、医療チームとの連携をさらにつよくしていきます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	詳細な情報提供書を作成し、関係者の方への口頭での説明も行っています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会やミーティング等で定期的に指導している。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	少しでも多くコミュニケーションを行う様にし、その適切な方法は認知症研修に参加した職員が他の職員を指導し、全職員が自己決定の支援が出来るように、指導している		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の希望をもとに、生活歴、趣味嗜好、心身の状態なども考慮しながらその日1日の過ごし方を考えています。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	適時訪問理容を利用し、希望に合わせて他の理美容院の利用を行っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事における得意分野(煮る、焼く、切る、味見、テーブルを拭く)を見つけ出し、それぞれの役割を見出し、スタッフと共に食事作りをおこない食事の前にはその方が作ってくださったお料理紹介をおこなっている。後片付けもスタッフが洗い、ご入居様がすすぐ、等楽しくおしゃべりしながらしています。お誕生日にはスタッフの手作りケーキをプレゼントしています。		
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、煙草ご希望はないが、毎週日曜日の夕食時、晚酌日をもうけています。おやつに関しては、希望をお聞きし食べたい時にお出ししています。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	お一人お一人の排泄パターンを把握しています。介助時等入居者様の意志を尊重しながら行っています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は設けているが、御希望時入浴していただけるよう、柔軟に対応しています。夜間入浴も行っています。足浴も希望時行っています。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間眠りが浅い入居者様には、日中、役割を持っていただき活気ある時間を過ごしていただき気持ちよく眠れるよう支援しています。眠剤が必要な入居者様には医師と話し合いのもと、その方にならったお薬を処方していただき、結果報告も必ずおこなっています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	詳細な情報収集を行い、自己決定を基本に日常的に行える、生活に密着したことを行っています。(料理、書道、ウォーキング、体操、園芸等)		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持されている入居者様はいますが、実際に使われる事は、ほとんどありません。日用品費として、2000円/月ご家族様よりお預かりし、入居者様の必要に応じて使って頂いています。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	現在、行事として外出の機会を多くしております。日常的な外出については検討していきたいと思っております。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している	1人1人の行きたい場所の希望をあらかじめ聞き、		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される入居者様には電話をしていただいているが、ご家族にあらかじめ話し合いをし、事情があり無理な場合はスタッフで、気持ちを傷つけることのないような声かけで対応させていただいている。	○	希望がある、ないに関わらず、もっと手紙のやりとりの機会の場をもつ必要がある。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族の方を招待するイベント、行事には、馴染みの方(知人・友人)にもお声を掛け、ホームで居心地よく過ごしていただく機会を増やし、今後も気軽に訪問出来るように工夫している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束になる具体的な行為等をスタッフが勉強し、理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>66</p> <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>外門、各階の階段入り口には鍵をかけているが居室には鍵はかけていませんが、日中のほとんどは入居者様とスタッフとリビングで過ごす事が多く、常に入居者様の様子を見守り、把握している。</p>		
<p>67</p> <p>○利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>入居者様、1人1人の性格、行動パターンの把握をスタッフがし、常に入居者様の側に寄りそい、ゆったりとしたかわりを心掛けている。</p>		
<p>68</p> <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>注意が必要な物品を入居者様を取り扱う際は、なくすのではなく、必ずスタッフが側に一緒に寄り添い必ず見守りを心掛け、危険を防ぐ取り組みをおこなっている。</p>		
<p>69</p> <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>勉強会を設けて知識を学び、ヒヤリハットの活動を行い、事故防止に取り組むだけでなく、事故防止の意識も高めている。</p>		
<p>70</p> <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>急変時のマニュアル作成をし、月に1回の勉強会でスタッフが対応出来るよう勉強中です。</p>		
<p>71</p> <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理をスタッフがとるよう呼びかけをおこなっている。年に2回の消防訓練を行い、消防署の方に立ち会っていただく時もある。自治会の消防訓練にも参加している。</p>	○	<p>防火管理の講習を受けているスタッフが今少なく、これから1人でも多くのスタッフが防火管理をとることにより、災害時に対応できるよう意識づけをしていかなければならない。</p>


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	体調に変化がある際は必ずご家族様に連絡をとるように心掛けている。抑圧感のないようにスタッフが適時話し合いをもうけている。	○	ご家族様との話し合いの機会をもっと行う必要がある。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	スタッフ全員が、早期発見と対応が出来るようにマニュアル作成だけでなく、勉強会も行っている。		
74 ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ファイルを作り、ご入居者様個別に薬の名前・効能が記載してある用紙を保管しており、誤薬がおこらないよう一人お一人薬は薬局で分包してもらっている。薬の変更があるときは必ず細かに記録し、変化がないか医者に報告をしている。		
75 ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	廊下のウォーキングをはじめ、水分補給の徹底、飲食物の工夫のど便秘解消の工夫やご入居者様お1人お1人に応じた排便パターン等を理解し、排便チェックも行い便秘解消に取り組んでいる。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ず口腔ケアを行っている。歯磨きや、義歯のケアも必ずスタッフが側におり、共に口腔内の清潔保持に力を入れている。異常などがあればすぐに受診をおこなっている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取表を整備し、こまめに記載できるようにしている。体調不良の方や、摂取にムラがあるかたには特に細かく記載し、毎朝の申し送りで、全スタッフに声をかけ、徹底している。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	スタッフの感染予防に対する意識を高めるために感染予防マニュアルをいつも目につく場所に置いてあり、インフルエンザの予防接種なども行っている。手洗いうがいは徹底し、食事前には必ずテーブル・トレーの消毒だけでなく、手指の消毒もおこなっている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防の為に、食材・調理器具の衛生管理や、調理をおこなう際必ずマニュアルに目を通すように、キッチンには、マニュアルを貼って、常に食中毒予防の意識をスタッフ全員に指導している。台所用品は毎晩必ず消毒している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節に応じた花を飾り、玄関周辺はぐるりと一周できる庭があり、花と緑といった自然な環境を維持し、ご家族の方やご近所の方にもいつでも来ていただける工夫をしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やリビングにはご入居様が作成したカレンダーや貼り絵や、写真等をり、季節感を出したりリビングには、昔のなじみある空間を味わっていただけるように畳のスペースもあり、冬にはコタツを置いている。カーテンの開閉で明るさの調節もおこなっている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の奥にベンチを設置しています。天気の良い日にはベランダや、屋上にテーブル、椅子を置き過ごすことができます。リビングには昔のなじみある空間を演出するため畳スペースがあり、ごろ寝ができるようになっています。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、馴染みの環境が大切であることをご家族に説明し、使い慣れたタンス、馴染みのある置物や人形、仏壇などを持ってきて頂き今まで生活してきた環境に出来るだけ近い環境を整えるようにしている。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>各居室、リビング等温度計を設置し適時確認しながら、冷暖房、窓の開閉等で温度調節をはかっています。毎朝夜勤者が窓を開け、換気に務め、その後も日勤者が温度を見ながら調節している。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレのスペースが狭かった為、一方所トイレを拡張し、車椅子の方でもゆったりとお手洗いが出来るようにしました。所々に手すりを設置し独歩のさい負担を軽減しています。階段の昇降が難しい方のために、独立型の階段昇降機を設置しています。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>ご入居者様お1人お1人に合わせて居室前の表札の字を大きくしたり、表示の色もわかりやすい色にしています。表札の所にご家族の方と一緒に撮った写真も飾っています。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の周りは遊歩道になっており、散歩できるようになっています。木や花を植え季節を感じられるようになっており、玄関には季節に応じた花を飾るよう心掛けています。庭には畑があり季節の野菜を入居者の方と植えています。屋上には車椅子の方でも楽しめるように特別なプランターを設置し野菜や花、果物などを栽培しています。</p>		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

屋上の有効活用と、屋上緑化の為に特別なプランターを設置し園芸をおこなっています。